



愛知一中・旭丘野球倶楽部インタビュー（第2回）：杉本慶主将（79期）

第2回は現役主将の杉本慶さん、愛知県ピックアップチームにも選ばれた内野手です！！
夏の大会を控えた5月の練習試合の合間、貴重な時間の中、礼儀正しく誠実に対応していただきました。

79期 杉本主将と現役チームの現在地

「昨秋、愛知県のピックアップチームに選抜され強豪校の選手たちとの合同チームに帯同した杉本主将、彼がそこで何を感じ、チームに何をもち帰ったのか。また現在の旭丘は秋季、春季ともに県大会に出場するなど、好成績を納めています。夏に向けてさらにギアを上げる大切な時期、チームの状態、最終目標等を熱く語っていただきました。」



プロフィール

- 氏名：杉本 慶（スギモト ケイ）
- 期：79期
- 出身：豊国中学校
- ポジション：遊撃手





1. 旭丘高校を目指した理由を教えてください。

僕は3人兄弟の三男で兄は2人とも旭丘高校の卒業生（73期、75期）です。兄たちから旭丘の良さをずっと聞いていましたので、僕にとって旭丘に入って野球をやることは自然な選択でした。他校と迷うこともなく、かなり早い段階から旭丘を意識して入学しました。

2. 野球部と学校生活の両立で心がけていることは何ですか。

時間がないことは強く感じています。硬式野球部は引退の時期が他の部活動と比べて遅く、土日も練習や試合で埋まり、勉強時間の確保は簡単ではありません。それでも、時間はあるかないかではなく自分で作るものだと考えています。試合や練習で疲れて眠くても習慣として机に向かうようにしています。特に、勉強時間ゼロの日を作らないように心がけています。その積み重ねが野球部引退後の巻き返しにつながると思っています。また、学校にいる時間も効率よく使うようにしています。2年生の春頃からはエースの前原と早弁して（笑）、一緒に昼休みに図書館で自習する習慣ができました。

3. 旭丘の2年間で成長したことと今後の課題を教えてください。

1年生の頃から試合に出させてもらい、ショートとしてチーム全体を見ながら試合や練習を動かす経験を積んできました。プレー面以上に、組織を動かす力やチームの中心としてどう振る舞うかという点で、人として成長できたと感じます。また今のチームは学年の壁があまりありません。2年生の頃から78期の佐々木キャプテンから信頼をいただき、必要なことをチーム全体に伝える役割も担ってきました。一方で課題はプレー面です。自分は守備を評価されてきたと自己評価していますが、好プレーがあっても簡単な打球を処理できないことがあり、確実性に欠ける点は大きな課題です。守備範囲や肩には一定の自信がありますが、捕球や送球を含め、基礎を積み上げて安定した守備を身につけたいです。

4. チームのセールスポイントは何ですか。

チームの強みは、試合後半にかけて調子を上げて勝ち切る底力があることです。公式戦で終盤に逆転勝利を収めたことも一度や二度ではありません。逆に言うと、序盤にどう試合に入っていくかはチームの課題だと思っています。また、試合経験を積んできた3年生がセンターラインを固めていることも強みのひとつです。それが安定した試合運びにつながっています。加えて、2年生にも良い打者が多く、3年生が引っ張りながら2年生ものびのび力を発揮できています。学年を問わずチーム全体で戦えている実感があります。特に前原と野口のバッテリーへの信頼は大きく、その2人を中心にチーム全体の實力は上がっていると感じます。残りの時間を無駄にせず、最高の状態で夏の大会を迎え、目標を達成したいです。





5. 愛知県ピックアップチームに選抜され、そこで得た経験とチームに持ち帰ったものを教えてください。

愛知県ピックアップチームでの感想は、率直にとっても楽しかったです。甲子園を目指す強豪校の選手も進学校で野球をしている選手もいて、さまざまな環境の選手が集まっていましたが、みんな野球に真剣に向き合っていました。活動は4回だけでしたが、試合中やベンチで各校のプレーの考え方や練習方法について活発に情報交換が行われていて、その野球談義の時間がとても刺激的でした。多くの学びを得て、それをチームにも持ち帰れたと思います。

6. 今後の野球の目標と将来の夢を教えてください。

将来の夢はまだはっきり決まっていませんが、大学でも野球を続けたいと考えています。特に東京大学野球部への思いが強く、中学3年の夏頃から意識してきました。高校だけでなく大学まで硬式野球を続け、神宮でプレーすることが大きな目標です。

7. 筑波大学野球部に進学した井戸田先輩(77期)の活躍は気になりますか。

情報はよくチェックしています。直接連絡を取っている訳ではありませんが、同じ旭丘から大学野球に進み、厳しい競争の中で戦っている姿は大きな刺激になっています。

8. これから旭丘高校を目指し、旭丘で野球をしたいと思っている小中学生へメッセージをお願いします。

旭丘はとても自由な学校です。また部活動でも自分たちで考える時間が多くあります。だからこそ、成長できるかどうかは自分次第です。野球が上手になりたいという強い意志がある人にとっては、同じ思いを持つ仲間と切磋琢磨しながら成長できる環境です。面白い仲間と出会い、お互いを高め合える、非常に良い環境だと思います。

9. OBOG へ一言お願いします。

普段から多くの支援をいただき、本当に感謝しています。春季大会でも、県大会出場にあたって吹奏楽部応援に必要なバスを支援いただきましたし、さまざまな面で支えていただいています。僕たちが自由に野球に打ち込める環境は OBOG の先輩の皆さんのおかげだと強く感じています。秋春連続で県大会に出場し、チームもかなり力をつけてきたと感じていますので夏も熱い応援をお願いします。

10. 夏の大会に向けチームの最終目標を教えてください。

新チーム発足時から、夏の目標はベスト8に掲げています。秋春の県大会で敗れた相手（日福大付属、刈谷高校）に勝ち切れるチームになれば、その先にベスト8が見えてくると考えています。

夏も期待していただき、応援していただけると嬉しいです。

今日はありがとうございました。





編集後記

清々しい初夏の昼下がり、午前の練習試合の後しっかりと口調でインタビューに答えていただきました。誠実な受け答えの中に積み上げてきた自信と自分やチームの無限の可能性が言葉から伝わってきました。自身の高校3年生だった頃と比較すると明らかに精神年齢の高さを感じました。自分の事だけでなく、チーム全体に気配り目配りができる素晴らしいキャプテンシーのある青年でした。

「目標は夏の大会ベスト8」と真っすぐな眼差しで語ってくれた言葉は、実績に裏付けられた確信を感じました。

高校野球は残り僅かです。怪我無く有意義な時間を過ごし、目標のベスト8を実現してください。我々OBOGもオール旭丘で母校野球部を応援いたしましょう！！（44期 高橋英男）

